

ネオ・ファンタジア (1976)

ALLEGRO NON TROPPO

メディア 映画 アニメ
ジャンル ファンタジー
製作国 イタリア
色彩 Color
時間 85分
初公開日 1980/01/02
公開情報 アート・フォーラム
リバイバル 2005/01/02 [プチグラパブリッシング]

【解説】

イタリア・アニメーション界の巨匠ブルーノ・ボゼット監督がクラシックの帝王カラヤンと手を組み、手掛けた伝説のシンフォニック・アニメーション。クラシックの名曲に合わせてアニメーションが縦横無尽に展開する6つのアニメ・パートとそれをつなぐモノクロの実写パートによる二重構成。実写の撮影にはフェリーニも参加。演奏は名門ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団。

舞台上には老婆ばかりのオーケストラ。凶暴でエキセントリックな指揮者に脅えながら一人のアニメーターが作画を始める。やがて絵は演奏に合わせて動き出す…。劇中では、「牧神の午後前奏曲」（ドビュッシー）、「スラヴ舞曲第7番」（ドヴォルザーク）、「ボレロ」（ラヴェル）、「悲しみのワルツ」（シベリウス）、「ヴァイオリン協奏曲ハ長調」（ヴィヴァルディ）、「火の鳥」（ストラヴィンスキー）というクラシックの名曲6曲が使用され、それらの曲に乗せてブラックなユーモアを交えたイマジネーション溢れるアニメが展開していく。

【クレジット】

監督	ブルーノ・ボゼット	Bruno Bozzetto
製作	ブルーノ・ボゼット	Bruno Bozzetto
脚本	ブルーノ・ボゼット ギード・マヌリ マウリツィオ・ニケッティ	Bruno Bozzetto
撮影	マリオ・マシーニ	Maurizio Nichetti
撮影協力	フェデリコ・フェリーニ	Mario Masini
演奏	ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団	Federico Fellini
指揮	ヘルベルト・フォン・カラヤン	Berliner Philharmoniker
出演	マウリツィオ・ニケッティ ネストール・ガレイ	Herbert von Karajan
		Maurizio Nichetti
		Nestor Garay